

# ろ と う ぎ く ら 魯 桃 桜

編集・発行 長野市立長野図書館  
〒380-0843 長野市長門町 1097-3  
電話 026-232-3558  
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



## パンダ

パンダ(正確にはレッサーパンダと区別するためにジャイアントパンダと呼ばれます。)のホアンホアンが出産したのが1986年6月1日。生まれた赤ちゃんパンダは、後にトントン(童童)と名付けられ日本で生まれて無事に育った最初のパンダとなりました。

初めて日本にパンダが来たのは1972年のことです。11月5日の一般公開初日には約5万6千人の人々が上野動物園を訪れ、そのうちの約1万8千人がパンダを見たそうです。当時の新聞には「2時間並んで見物50秒」という記事が見られます。現在日本でパンダを飼育している施設はありませんが、パンダが人気者であることは変わりません。

なぜパンダはこんなに人々を夢中にさせるのか、いろいろな理由が考えられますが、一番は、やはりそのかわいらしい姿でしょう。「パンダ座り」と言われる座り方、第六の指と呼ばれる突起を使って食べ物を手で持って食べる姿、丸い顔と体…。一方でパンダの体がなぜ白黒の模様なのかについては、まだ明確な説がないようです。謎があることもまた、パンダの魅力の一部なのかもしれません。

### 参考資料

- 『上野の山はパンダ日和』佐川 義明/著 東邦出版《489サ》
- 『パンダ百科全書』張 志和/編著 ホビージャパン《489チ》
- 『パンダワールド』中川 美帆/著 大和書房《489ナ》
- 『パンダが日本にやってきた!』日本パンダ保護協会/監修 朝日新聞出版《489ハ》



## 今月のテーマ 和菓子を楽しもう

6月16日は和菓子の日です。平安時代中期に疫病が蔓延し仁明天皇が疫病退散を祈念し16個のお菓子をお供えたことに由来します。江戸時代には將軍からお菓子を賜る行事となり、庶民も16文で16個の餅を食べる行事として親しまれていました。味だけでなく見た目でも楽しめる和菓子を本の世界でも楽しんでみませんか。



参考資料『春夏秋冬ゆる〜く楽しむ和の行事』《386ホ》

### 図書館カレンダー

開館時間 平日 9:45~19:00  
土日祝 9:45~18:00

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

♪♪♪♪♪  
見たり聞いたり~新着CDからピックアップ~  
♪♪♪♪♪

### 『Eternal Fantasy』

村治 佳織/ギター 《763ム》

ギタリスト村治佳織が、ゲーム音楽をカバーしました。新境地ともいえるこのアルバムは、ギター豊かな音色とともにゲーム音楽ならではの美しいメロディを楽しむことができます。

### <蔵書点検のおしらせ>

**\*6/1(月)~6/14(日)まで蔵書点検のため休館します**

## 新刊案内

### 『日本一わかりやすい「デジタル終活・遺品の探し方」実践ガイド』

末吉 謙佑著 イースト・プレス《007.6ス》

自分のためにも、家族のためにも、今すぐ始められる実践的なデジタル終活ガイド。デジタル遺品の探し方から整理・管理・引き継ぎ方までを解説。デジタル資産管理シート等のダウンロード用 QR コード(図書館利用可)付き。

### 『歴史学者、ガザに潜入する』

ジャン＝ピエール・フィリユ著 河出書房新社《302.2フ》

完全封鎖された戦場でなにが起きていたのか？ フランスの歴史学者が、暴走する支配者たちの欲望とテクノロジーに支えられた「殲滅戦争」の実態を克明に観察し、ガザの人々の声を丹念に集めた衝撃のルポルタージュ。

### 『空き家と移住』

垣谷 美雨著 朝日新聞出版《Fカ》

路代は田舎にある古びた実家を売りに出したが、買い手は現れず、危機感を強めていく。一方、都内のマンションの家賃高騰に嫌気が差した史緒里と大河は、ネットで路代の家を目を留め…。『小説トリッパー』連載を単行本化。

### 『大西洋前史』

ジョン・ハイウッド著 河出書房新社《209ハ》

コロンブスの新大陸発見以前から、大西洋には冒険に満ちた劇的な歴史があった！ 16万8000年前頃の大西洋の誕生から、大航海時代前夜の1500年頃まで、地学、人類学、歴史学を駆使し、歴史の空白を埋める。

### 『発酵を考えるヒント』

なかじ編著 エクスナレッジ《588ナ》

発酵とは、時間をかけてゆっくりと変化し、味わいや変容を生み出していく営み。発酵はなぜ人びとの暮らしと深く結びついてきたのか。“発酵を考えるヒント”を探すべく、発酵に関わる様々な分野の専門家9人に話を聞く。

### 『黄金の軍鶏』

ファン・ルルフォ著 国書刊行会《963ル》

病身の母と貧しく暮らしているディオニシオ。ある夜、闘鶏で深手を負った1羽の軍鶏を譲り受けた。やがて息を吹き返した軍鶏は闘鶏で勝ち続け、富と名声を彼にもたらすが…。メキシコの国民的作家による、欲望と宿命の物語。

## 4月・5月発表の文学賞受賞作品

2026年 本屋大賞 『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ	第39回 山本周五郎賞 『見えるか保乙一』 蟬谷めぐ実
第42回 太宰治賞 『タロー・ジ・エンド』 こがわゆうじろう	第45回 新田次郎文学賞 『雀ちよっちょ』 村木嵐
第50回 川端康成文学賞 『近づくと遠ざかる船』 古川真人	第57回 大宅壮一ノンフィクション賞 『アフリカから来たランナーたち』 古川真人
第26回 本格ミステリ大賞(小説部門) 『夜と霧の誘拐』 笠井潔	
第26回 本格ミステリ大賞(評論・研究部門) 『謎ときエドガー・アラン・ポー 知られざる未解決殺人事件』 竹内康浩	

## 新着 CD 案内

- ・ドラゴン桜式!超集中!BEST STUDY MIX《763ウ》
- ・PHILANTHROPY 《763ハ》
- ・シヨスタコーヴィチ:  
ヴァイオリン協奏曲第2番他 《764ク》
- ・ル・ポレン 《767ハ》
- ・つばめがえし 《783サ》

## 6月映画上映予定

時間:午後2時から 会場:3階視聴覚室

6月27日(土)



タイトル:『舞踏会の手帖』



字幕:白黒・130分

監督・脚本:ジュリアン・デュヴィヴィエ

CAST:マリー・ベル/フランソワーズ・ロゼー/  
ルイ・ジューヴェ

<1937年 フランス作品>